

令和7年度 第2回 西条市子ども・子育て会議 開催記録

日時	令和8年2月18日（水）19：00～21：00	
場所	西条市役所 本館5階 大会議室	
参加者	<p>【委員：14人】 公立幼稚園・こども園保護者、公立保育所保護者会長、西条市保育協議会会長、私立幼稚園園長、私立認定こども園園長、私立保育園理事長、私立幼稚園主任教諭、元小学校校長、主任児童委員部長、青少年健全育成協議会会長、医師、商工会議所青年部会長、PTA連合会副会長、児童発達支援センター施設長</p> <p>【市側：14人】 こども健康部長、保育・幼稚園課長、こども未来課長、健康医療推進課課長、健康医療推進課担当課長、学校政策課課長、保育・幼稚園課副課長、保育・幼稚園課施設総務係長、健康医療推進課母子保健係長、こども未来課副課長、こども未来課副課長、子育て支援係長、子育て世代包括支援係長、こども家庭支援係長</p>	
次第	<p>1 部長挨拶</p> <p>2 協議題</p> <p>(1) 利用定員の設定に係る意見聴取について</p> <p>(2) 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について</p> <p>(3) 保育提供体制の確保のための実施計画について</p>	
【協議題】 利用定員の設定に係る意見聴取について		
	委員の発言要旨	市の発言要旨
	小松こども園は公立なので、令和7年度の数字はこの1号認定は小松幼稚園の数字と解釈してよいのか？小松西保育所が2号と3号の合計と見てよいのか？。保育所と幼稚園が合併して8年からの数字の1号は、多分幼稚園に行っていた子供たちが保育関係の方に流れてるとか、そのような意味合いで解釈したらよいのか？	そのとおりである。1号定員の70名が小松幼稚園の定員で、2号・3号の合計の90名が小松西保育所の定員となっている。
	かなり幼稚園から保育型に流れてるのかなと単純に解釈したのでよろしいのか？	ニーズがやはり保護者の就労の関係から、1号から2・3号に流れてるようなことになっている。
【協議題】 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について		
	委員の発言要旨	市の発言要旨
	先ほど説明のあった確認申請の中で、りありのきつず愛媛西条さんのところだが、他の施設と比べて職員数は特段変わりはないと思うが、1時間あたりの定員数が他の施設に比べて多いような気がするが、ここに関してもう少し、許可をしたという説明、その理由について加えていただきたい。	配置基準という国に定められたものがあり、0歳児であれば1名の保育士で3人まで、1・2歳児であれば6人まで1名の保育士で見ることができるようになっている。こちらはもちろん申請があって利用開始するものになるので、もちろんローテーション等工夫はされると思うが、配置基準に対しては満たしていることを確認している。
	自分としては、0歳児を3人で見れるとか、1人で6人見れるとか、ちょっとびっくりする。いつも通ってる保育園の中で、お友達同士でやるとか、その子のことがよく分かっている保育士ならそういうことももしかしたら可能かなと思うが、いつも通ってる子じゃなくて、お母さんが必要とされた時に連れてこられるお子さんに対して、国ではそういう基準かもしれないが、実際そういうことが可能なのかなと少し不安に思う。国の基準がそういうことであれば、実際の数はちょっと分からないのではないかと。どれだけ希望があって、ニーズがあって、実際にその日がそういう数になるかどうか分からないが、まあ、採択ということであるのか。	はい。これ、りありのきつず愛媛西条さんは同系列の他施設でも実績があり、今までのノウハウなどを含めて、安全に運営体制ができていますと確認している。
	ニュースで見たが、都会の方の施設であったが、通常保育されている中に突然来られたお子さんも入って、一緒に遊んだりするような場面を見たことがあったが、それとは違うということか？	別である。専用のスペースを設けている。
【協議題】 保育提供体制の確保のための実施計画について		
	委員の発言要旨	市の発言要旨
	この借上げは、去年の西条市保育協議会の総会の時に市長をお呼びして、市長に挨拶もしてもらって、その後西条市の保育士が絶対的に足りてないということを市長とは話しまして、市長が多分本腰で動いてくれたんじゃないかなと思う。借上げ、西条市から一旦外に、養成校に出るので、それで帰ってこない。西条市で就職してくれたら保育士が戻ってきて地元でということだが、松山などはその借上げ制度、多分この制度がもう先立って前年度ぐらいから始まっているので、松山の養成校を出た人は松山に留まってしまうということを経験させてもらった。市長の考えもあって動いてくれたのかなと推察する。大変素晴らしい制度だと思うし、うちの保育園の中でも住民票が東温市のものでおりました、西条市に東温市から通うのはなかなか厳しいと。で、西条市内にマンション1人暮らししてうちの保育士として働いてもらっているが、そこはもう園が出すか、個人が負担するか。家賃はそうやっているが、これをやってくれたら西条帰ってきてやろうとか。西条に帰ってきても親御さんと一緒に住みたいとかって、やっぱり外にマンション借りて1人暮らししたい、それで働けるならっていう子もやっぱりいる。今までも結構いて、それで「あ、宿舎は面倒見てもらえるのなら、もうちょっと大学出たその近くで就職しようか」っていうことがあったので、これは素晴らしい、保育士が西条に戻ってくるきっかけになるのではないかなと思う。ところで、この実施計画の資料中の児童数などの実績というのは利用・利用者か？定員か？	最初に配布された資料と、1枚目が西条市全体の数値で、実績は7年度4月1日現在の就学前の児童数と、施設利用・保育園などの利用を申し込んだ方、4月1日現在の実績である。その右側以降については、8年の4月1日、9年、10年、11年ということで、第3期の計画に、先ほども説明があったが、各施設の定員変更なんかも加味した、直近の計画の数値にしたものを国に提出するということである。1番左側は7年の時点である。これを出すと、国には西条市の就学前の子供の推移とか、実際にそのうちの子供が何人ぐらい申し込みがあり、受け皿としてどのくらいの子供を受け入れる用意があるんかというような、状態が国にも分かっていたかという、借上げの事業を国に採択してもらうための必要な書類になっている。

【協議題】 保育提供体制の確保のための実施計画について	
委員の発言要旨	市の発言要旨
説明が分かりにくかった。国に申請するためにこれが必要なのか？	<p>保育士宿舎借り上げ支援事業の目的は、保育士が安心して働けるように居住環境を支援して、職場定着、人材確保を促進するための事業である。保育士の人材不足が社会問題になっており、本市においても求人を出しても、公立も私立も思ったように保育士が確保できないような状況である。昨年4月に保育協議会の総会の後に、会長・副会長から市長に対して話があったこともあり、西条出身の学生が学校のあるところそのまま残ってしまうというような意見もあった。これまでの保育でも人材が不足してる上に、こども誰でも通園制度も始まるということで、さらに人材が必要となっているという経緯もある。それまでの本市においては、UIIターンの保育士への補助なんかもやっているが、さらに人材確保の取り組みを強化する必要があるということで、国に計画を出して実施予定としております。宿舎借り上げの事業の内容といたしましては、宿舎を借り上げて採用から6年以内の保育士を居住させている保育施設の設置者に対して、宿舎借り上げに係る費用を補助するものである。具体的に直近の補助の金額で申し上げますと、西条であれば補助基準が月4万7000円。これの4分の3の月額補助額が3万5250円になるが、これが事業が採択されて予算がつけば、その宿舎を借り上げている施設の設置者に対して補助ができるということです。この4万7000円というのが地域別に設定されていて、もっと都会の方になるとこの基準額が高いということで、西条の場合は4万7000円ということで基準が決まっている。これは国の「保育対策総合支援事業費補助金」と、県の「愛媛人口減少対策総合交付金」を活用して実施する予定としており、令和8年度から実施ということで考えているが、これも計画が国に採択されて、予算措置をして予算がついたら実施ができるものである。その前段として、国に上げる前段としてこの会議の承認が必要ということで話している。この事業をすることにより見込まれる効果は、住居環境の安定が保育士の離職を減らし、保育士の職場定着に繋がるとか、家賃支援が就職や転職の動機付けとなって人材確保への効果が期待できるとか。人材確保に繋がれば、保育施設の安定運営とか保育サービスの向上にも繋がるというような効果も期待できるんじゃないかということで、前向きに取り組んでいきたいと考えている。</p>
保育士不足はもうどこでも、児童発達支援センターも同じです。はっきり言って高齢化に近くなってきている。それはどこの施設も多分そうではないかなと思う。そして、私たちの人材確保のために、これ、親御さんがあると思ったら本当に助かると思うので、ここは大賛成、反対しません。是非国に上げてやって欲しいが、実はこれをしたところで人が来るのかなと私は思っている。実はもう既に人材確保したくて、大学に求めに行っても、なんと西条地区からその生徒が行っていない。既に今治地区なんかだと、西条市からも実際に子供さんがその保育士の道を選ぶというところに進学に行っていない。ということは、もう既に県外に最初から出ている形跡がある。なので、ここに家賃補助を作ったからと言って、それはちょっと厳しいのかなってというのが実際のところである。あと、ある先生が最近その保育を目指す学生さんをターゲットにすると難しい。高校生あたりからしっかり養成を始めた方が絶対いいと思うので、どんな催し物をさせていただいて、その高校生に地元でこう働いてみないかというような、保育ってこう楽しい仕事なんだよっていうようなことをしてくださっている。私は本当に来ていただくのなら、いっぱいそういう実践をした中で「あ、これ素晴らしい」っていう子は必ず出てくると思うので、そこに事前投資……事前投資ではないんですけども、制度を作ることが難しいのは知ってるんですが、本当に簡単な奨学金みたいなものを創って、必ず西条市に帰っていただくというようなシステムを創ってもらえれば希望はあるかと思うが。「創りましたから帰ってください」だけでは帰らない現実が、もうこの数年私は身を持って感じているので。何かそういうもう少し下の方から掘り下げていくようなシステムがあればいいかなという、ご希望だけ言わせてもらう。住居費支援は私は大賛成なので、是非進めていただきたいが、もうあと何十年後にはもう本当にいなくなると思うので、是非そのことも少し頭の隅に置いていっていただけたら。	-----
愛媛県の制度としてありますよ。貸し付けて、戻ってきて保育士をして何年かしたら返還しなくていいっていうやつがあると思います。保育士資格を取ってね、戻ってきてやったら……。うん。そういう制度、愛媛県じゃなくて西条でやってくれたら、ちゃんと西条市に帰ってきてやるんじゃないかとは思いますが。それは全額じゃなくても当然いいんですけどね。奨学金制度というので、戻ってきて、西条で保育士として何年間か働いてください、働いてくれたら免除になりますよとか、減免されますよっていうことがあれば、子が帰ってくる道筋ができるんじゃないかと思えます。愛媛県全体で言うと、やっぱりどうしても松山に残ります。その辺がやっぱり西条市でどうにかできるか。で、その高校生のボランティアを呼んで絵本の読み聞かせをしてもらうっていうのはね、今まで参加してくれて……ちょっとお話ししてもらえたら。	-----
先ほど話にありました、その高校生の保育士になりたい方をターゲットにして、そのいろんな催し物をしてるところで、つい先日「SAIJOBASE」で、高校生であったり、先生で、本を読んでいたいたり、簡単な仕事を高校生と子供と一緒にやるっていうイベントに参加した。我が家には上が5歳、真ん中が2歳半で、今お腹の中に3人目がいるんですが、全員男子で。やっぱりこう体を動かしたり外に出てみたりっていうのがすごく強くて。児童館とかにもすごい通わせてもらってるんですけど、それもやっぱり飽きてしまうっていうところ。うちの子は人との触れ合いがすごく好きで、そういったイベントによく参加させてもらうが、そういった場をやっぱり多く持ってもらえた方が、保護者としてもすごいありがたい。その西条でも高校生の、主に女の子が多かったが、やっぱりすごい楽しそうに子供たちとうまくこう、子供分かるように伝えてくれたり、コミュニケーション考えてくれながらしているのを見て、ま、親から見てもすごいやっぱり子育てに向いてるなというか。すごいこういう体験で、やっぱり仕事を今結びつくというか、想像しやすい場所とか持ち物が増えるのはすごくいいことだなと思って、これからもあればうちは参加したいなと思っている。ありがとうございます。	-----

【協議題】 保育提供体制の確保のための実施計画について	
委員の発言要旨	市の発言要旨
<p>年に4回、大体季節ごとに実施しているので、是非参加してほしい。こういう活動も、高校生に保育士になるという志望動機を作らなければ、進学してからではもう遅いので。高校生、中学生あたりをもうターゲットにしないと、何もしいわけにはいけないので、できることは何でもやってみようと思ってやっている。西条市さんも後援としてやってもらってるんで、理解はしてると思う。そういうイベントを、その幼稚園の組合の方もやったらいいと思う。そうやって小学校の先生も、僕はそうだと思う。そういうのを志す人を、やっぱり僕がやってる会も保育士じゃなくて「小学校の先生になりたいんです」っていう子も参加している。結構参加している。やっぱりそういう接点を、幼児と高校生を結びつける接点を作る場を設けたいなど。今はそういう場所を作らん限り多分できないと思う。私たちが育った小さい頃と違って、家族の親戚とかと付き合いも薄くなってきているので。高校生と、その小学生低学年までオッケーにしているが、小学生、低学年、幼児でそこら辺をコラボして、「あ、こういう仕事やってみたい」っていう子を1人でも育てたいと思ってやっています。</p>	-----
<p>市内で「夢チャレンジ（職場体験）」をやっているかと思うんですが、私が今勤めてる公民館の方に「受け入れてもらえませんか」という問い合わせがあるが、保育所に、西条の方から夢チャレンジとかそういう職場体験のようなことも、呼びかけを市がしていると思うが、その受け入れ状況はあまり良くないのか？</p>	-----
<p>うちは毎年、今は西条南中学校だけが受け入れている。コロナ前後で結構お断りしてたことがあった。その前後は西条東中の子も、ちょっと知ってる先生がいたんで「受け入れてもらえないか」ということを頼みにいらしたので受け入れた。西条東と西条南は来てます。今、西条東はもう来なくなりましたが。コロナ明けてからね、多分他に受け入れてくれる保育園があったんだろうと思うが。</p>	-----
<p>その辺を、市の喫緊の課題だということで、保育園さんに特に特化してとは言いませんが、そういう体験の場を増やすというのも1つかなとも思う。高校生にもそういう、なんか夢チャレンジとは言わないが、そういう機会を、学校にもなんかご理解いただいてご協力をいただくというのも1つの手なのかなとも思う。これからなりたいのものを考えようとしている時期に、そういう体験っていうのはすごく大事なものだと思う。小学校にもそういう機会があればまた1ついいかなとも思うので、その辺を市にもご理解いただいでできたらいいなと思う。で、保育士さんがいない、全然足りてないということだったが、西条市内の小学校の先生も随分足りてないという情報をもういろんなところから聞いている。やはり教育の環境を整えるっていうことについて、やはりその人材確保っていうのはすごい、いろんな発達段階でもこう課題なんだなということを今お伺いして、非常に問題だなという風に思う。今日私初めて、そういう保育士さんを確保するために、そういう国からの支援があるということをお伺いしたし、そこに西条市が早速取り組んでいることをお伺いしたので。また小学校・中学校の教員確保にも、またご協力いただきたい。</p>	'-----